

2022  
12



## 2022年コレクション展Ⅱ特集2「没後50年 吉原治良の小宇宙」展関連 こどものイベント

### 「探検！吉原治良の小宇宙」

- 開催日時：2022年12月17日(土)
- 参加者：こども4名、大人3名
- 対象：小学生～高校生と保護者
- 場所：レクチャールーム、常設展示室

- 概要  
吉原治良について学芸員の話聞いた後、「小宇宙の探検家」になって複数の作品に描かれた似ている形や、よく見ないと気づかないところに描かれた動物を探したり、自分で作品を見て発見したことを報告したりしました。

- 1 オリエンテーションと学芸員によるレクチャー  
最初に、展覧会担当の相良学芸員が吉原さんは大きな会社の社長をしながら絵を描いていた画家であることを紹介しました。小さい頃からおじいさんになるまで絵を描き続け、晩年はキャンバスに大きな円の形を追求して描くようになったことなどをお話しました。また、吉原さんには好んで描いていた形があるので注目して見てほしいとお伝えしました。



#### ◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・自分1人で気づけないことが分かった。
- ・色々な絵が見れてうれしかった。具体が好きだからより良かった。

※具体…具体美術協会

#### ◇保護者の感想

- ・たくさん子どもに発表する機会をくださってありがとうございます。
- ・大好きな具体の作品をいろいろな発見、見方をしながら見れたことを子どもはよろこんでいました。

#### ■2 鑑賞

探検で使うワークシートやタブレットについての説明を聞いて、いよいよ「吉原治良の小宇宙」へ出発！作品保護のため、照明を落とした少し薄暗い会場でひとつの作品をじっくり観察したり、気づいたことをワークシートに書き込んだりしていました。まるで吉原さんの作品の世界に吸い込まれていくかのように、とても集中して鑑賞していました。



写真①「展示室で作品を鑑賞している様子」



写真②「ふりかえりで発表している様子」

#### ■3 ふりかえり①

ふりかえりでは展示室で発見したことを報告してもらいました。写真①の作品では、「いろいろな動物が描かれているので探してみよう」というお題について形の特徴から探してくれた人が多かったようです。「金色の髪を結んだ女の子」とか「バナナに見える」などという報告もありました。

《作品(夜の鳥)》という作品には「鳥が描かれているので見つけてみよう」というお題が出て、思っていた以上にたくさん見つけてくれました。どこに描かれているのか前に出て作品の画像を指して紹介してくれる子やどんな鳥かを自らポーズをとって教えてくれる子もいました。

#### ■4 ふりかえり②

次に、何枚もの作品に描かれた似ている形について「見つけることができたかな？」と聞くと、発見した形を言葉や、タブレットで撮った写真で報告してくれました。形だけでなく「薄い線で描かれているところが似ている」という描き方に注目した意見もありました。みんなの報告から、吉原さんの作品には円がよく出てくることが分かりました。《作品(夜の鳥)》(写真②)にも円が描かれていることを相良学芸員に教えてもらおうと、みんな「あっ!」「ほんとだ!」とびっくりした様子でした。また黒や赤色がよく使われていることも発見することができました。お気に入りの作品については、「色が気に入った」「ねこが描かれていて可愛いから」など気に入ったそれぞれの理由をお話してくれ、「吉原治良の小宇宙」で発見したことをたくさん共有することができました。



#### □展覧会担当からのコメント

参加者のみなさんが吉原作品からいろいろな特徴ある形を探し出してくれて、とてもうれしかったです。人間がつくるものには、その人間の人となりがあるものであることを、特徴ある形や色の組み合わせなどから知ってもらひひとつのきっかけになればうれしいです。ありがとうございました。（相良周作学芸員）